令和7年度 医療安全シンポジウム (Web 開催) 開催要項

1. 開催趣旨

高齢化の進展により様々な疾患を抱え、複数の医療機関や診療科を受診する患者が増加しており、それに伴い多剤併用(ポリファーマシー)の問題が指摘されるようになった。ポリファーマシーは、ふらつき・せん妄・抑うつなどの薬剤有害事象を引き起こすリスクだけでなく、服薬管理の複雑化により患者自身が正確な内服ができないといった問題を招くこととなり、病院施設だけではなく在宅医療の現場でも大きな課題となっている。

少子高齢化が進み、地域で求められる医療機能も「病院完結型」から、地域全体で治し、支える「地域完結型」へと変化する時代を迎え、病院から在宅まで切れ目のない医療・介護の連携を通じて患者や家族とともに、処方の適正化と服薬支援に取り組むことが求められている。

今年度の医療安全シンポジウムでは、病院・在宅における多職種による意見交換を通じて、ポリファーマシーに関する課題や対応策について共有し、今後の連携の在り方を検討する機会にしたい。

2. 開催日時

令和7年11月29日(土) 13:00~16:30

3. 開催内容

テーマ: 「みんなで考えよう medication safety~ポリファーマシーのもたらす課題~」 プログラム: 講演、シンポジウム (詳細 9.プログラム参照)

4. 開催場所

ZOOM を用いたオンライン開催

5. 対象

看護師、助産師、保健師、医師、歯科医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、作業療法士、理学療法士、事務、その他の医療従事者

6. 定員

250名

7. 申込期間

令和7年10月1日(水)~11月17日(月)

8. 参加費

1,500 円

9. プログラム

B. 74974	
13:00~13:05	開会:挨拶 公益社団法人京都府看護協会 会長
13:10~13:20	講演 「ポリファーマシーとは」 松村 由美 氏 公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員会 委員 京都府医師会 理事/京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長
13:20~16:30	シンポジウム 「ポリファーマシーについて考える」
	~病院部門から現状と課題~ シンポジスト ・病院医師の立場より 松村 由美 氏 京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長/京都府医師会 理事公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員会 委員
	病院薬剤師の立場より 友金 幹視 氏 京都第二赤十字病院 薬剤部 部長/京都府薬剤師会 常務理事 公益社団法人京都府看護協会 医療安全 委員
	・病院看護師の立場より 中村 いつ子 氏 京都第二赤十字病院 看護副部長
	~在宅部門からの現状と課題~ シンポジスト ・在宅医師の立場より 田原 正夫 氏 岩倉駅前たはらクリニック院長
	・在宅薬剤師の立場より 中林 保 氏 おれんじ薬局 開設者 管理薬剤師/京都府薬剤師会 常務理事
	・訪問看護師の立場より 田辺 順子 氏 訪問看護ステーションたんぽぽ所長
	<コメンテーター>
	山口 明浩 氏 京都府医師会医療安全対策委員会委員長 京都山城総合医療センター 病院長
	<座長>
	岡田 依子 氏 公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員
	山下 さやか 氏 公益社団法人京都府看護協会 医療安全委員